

平成31年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

- (1) 令和元年度第1回理事会
日時：令和元年5月31日(金) 10時～
会場：国立劇場おきなわ会議室
議事：議案第1号 平成30年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 令和元年第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について
- (2) 令和元年度第1回評議員会
日時：令和元年6月18日(火) 10時～
会場：国立劇場おきなわ会議室
議事：議案第1号 平成30年度決算報告について
議案第2号 理事の選任及び解任について
- (3) 令和元年度第2回理事会
日時：令和元年6月18日(火) 14時～
会場：国立劇場おきなわ会議室
議事：議案第1号 理事長の選定について
議案第2号 常務理事の選定について
議案第3号 事務局長の選任について
議案第4号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団施設使用規程の一部改正について
議案第5号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団就業規程の一部改正について
- (4) 令和元年度第3回理事会
日時：令和2年3月11日(水) 10時～
場所：国立劇場おきなわ会議室
議事：議案第1号 令和2年度事業計画及び収支予算について
議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団就業規程の改正について
議案第3号 芸術監督の専任化に伴う公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団関係規程の整備について
議案第4号 令和元年第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について
- (5) 令和元年度第2回評議員会
日時：令和2年3月27日(金) 10時～
会場：国立劇場おきなわ会議室
議事：議案第1号 令和2年度事業計画及び収支予算について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：30公演37回】

28公演35回（定期公演12回、企画公演9回、研究公演2回、普及公演12回）を実施した。※新型コロナウイルス感染症のため2公演2回中止

ア 定期公演（12公演12回）【年度計画：14公演14回】

組踊・琉球舞踊・三線音楽・沖縄芝居・民俗芸能で編成し、伝承されてきた古典の形態を尊重しつつ、必要に応じて上演前に解説を加える等、観客のニーズも勘案し上演した。

公演名	公演数	回数
組踊	4	4
琉球舞踊	5	5
三線音楽（民謡等）	1	1
沖縄芝居	1	1
民俗芸能	1	1

イ 企画公演（8公演9回）【年度計画：8公演9回】

さまざまなジャンルの比較公演をはじめ、本土の芸能、アジア・太平洋地域を中心とする海外の伝統芸能、新作組踊等で構成する。沖縄伝統芸能の新たな可能性を求め、さらなる発展につながる公演の制作に努めた。

公演名	公演数	回数
組踊（新作組踊、語り組踊含む）	3	4
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席、能）	3	3
その他（ゆらていく遊ば）	1	1

ウ 研究公演（2公演2回）【年度計画：2公演2回】

組踊はじめ沖縄伝統芸能の活性化を目的に、現在、上演の途絶えている組踊や御冠船踊などの中から復曲を試みる公演や、学問的な視点から研究に寄与する公演を制作した。

公演名	公演数	回数
御冠船踊と組踊	2	2

エ 普及公演（6公演12回）【年度計画：6公演12回】

組踊、琉球舞踊、沖縄芝居の三つのジャンルにおいて、古典に触れる、親しむことを目的に、児童・生徒や親子を対象に解説を交え上演し、新たな観客層の開拓に努める公演を制作した。

公演名	公演数	回数
組踊鑑賞教室	4	9
琉球舞踊鑑賞教室	1	1
沖縄芝居鑑賞教室	1	2

オ 組踊上演300周年記念公演の開催

2019年は組踊上演300周年に当たるため、組踊に関連する自主公演を「組踊上演300周年記念公演」と位置づけ、上演した。

【事業内容】

- ・定期公演「組踊『万歳敵討』『義臣物語』」（4月20日）
- ・定期公演「組踊『忠臣身替の巻』」（5月15日）
- ・定期公演「三線音楽『古典音楽の美』」（5月25日）
- ・普及公演「組踊鑑賞教室『二童敵討』」（6月8日）
- ・企画公演「語り組踊『恋し子の方星』」（6月15日）
- ・定期公演「組踊『花売の縁』」（6月29日）
- ・普及公演「親子のための組踊鑑賞教室『女物狂』」（7月27日）
- ・企画公演「新作組踊『花の幻』『花よ、とこしえに』」（8月24日～25日）
- ・研究公演「御冠船踊と組踊『執心鐘入』」（10月4日）
- ・研究公演「御冠船踊と組踊『銘苺子』」（10月5日）
- ・普及公演「組踊鑑賞教室『執心鐘入』」（10月16日～18日）
- ・普及公演「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～組踊『執心鐘入』」（10月19日）
- ・民俗芸能公演「組踊『父子忠臣』～竹富島仲筋村～」(11月24日)
- ・企画公演「能『翁』『羽衣』」（12月21日）
- ・企画公演「能『放下僧』『石橋』」（12月22日）

※【自主公演日程・演目・出演者】及び【自主公演入場率】は巻末に掲載

(2) 自主公演の開催準備

令和2年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を令和元年8月22日、令和2年3月24日に開催した。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（文化観光基盤整備事業）

県外（神奈川県茅ヶ崎市）において、琉球舞踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

- ・令和2年2月24日(月)／茅ヶ崎市民文化会館／2ステージ

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業

国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会の少ない層への働きかけを目的に、大型商業施設及び県内小中高校において、おでかけワークショップを実施した。

また、観劇の際に利用する貸切バスの費用を助成する貸切バス費用助成事業（30名以上の団体を対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。

(5) 地域の文化芸術振興事業

石垣市において、組踊等沖縄伝統芸能を上演し、国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会の少ない離島・北部地域において、組踊等の沖縄伝統芸能に広く親しむ機会を提供した。

- ・令和元年12月1日(日)／石垣市民会館／1ステージ

(6) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

- ・公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。
- ・チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取って

もらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（350団体）にチラシを配布した。

- ・沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

- ・劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。
- ・沖縄都市モノレールの窓上広告として、年間を通じて施設案内のポスターを掲示した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	・琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄での公演告知。 ・沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーでの公演紹介とチケットプレゼント ・琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄での公演告知と、広告欄での広告掲載を行った。
Web	「ぴらつか暦」、「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「ぴらつか暦」「おきなわ倶楽部」（以上月刊誌）、「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」「にぎやか談話室」（以上季刊誌）、「そらくる沖縄」（年1回）

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

- ・伝統芸能伝承者養成研修講師・宮城能鳳へのインタビュー放映。（5/4沖縄テレビ放送「おきなわ モンド ウォーカー」）
- ・琉球朝日放送のテレビ番組「十時茶まで待てない！」（5/14、7/16、8/14、10/9、1/8、3/24）。
- ・国立劇場おきなわの紹介、嘉数芸術監督出演。（NHK『愛されて300年”琉球歌舞劇”組踊の世界』九州・沖縄12/7、全国放送12/12）
- ・「忠臣身替の巻」の宣伝のため、嘉数道彦芸術監督・出演者の佐辺良和（組踊研修修了者）が生出演。（5/9 FM沖縄「ハッピーアイランド」）
- ・組踊の魅力や終了した公演、予定している公演について紹介した（FM沖縄のラジオ番組「オリオンびあふれいく」11月の毎週木曜・4回放送）。
- ・11月～1月にかけて、ラジオ沖縄にて20秒CMを複数回放送。
- ・ラジオ沖縄「ティーサージパラダイス」ラジオカーによる告知、嘉数芸術監督出演（12/18、1/8）。
- ・日本トランスオーシャン航空の機内誌「Coralway」真南風号にて、組踊公演等への取材・撮影に協力した組踊特集記事が掲載。
- ・「モモト VOL. 41」にて、組踊の紹介、茂木仁史調査養成課長への取材記事が掲載。

エ ポスター等展示による劇場外イベント

(ア) 沖縄修学旅行誘致を目的とした「沖縄修学旅行フェア2019in東京」及びMICE誘致を目的とした「沖縄MICEセミナー&商談会 IN東京」（場所：東京交通会館、主催：沖縄県・（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）において、旅行代理店等に国立劇場おきなわの修学旅行向けコンテンツを紹介した。

(イ) 大阪で開催された「ツーリズムEXPOジャパン2019」(主催：公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、日本政府観光局)に参加し、劇場PRブースを設置するとともに、沖縄音楽体験ワークショップ、イベントブースでの公演を行った。

オ その他

(ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 令和2年度自主公演年間予定表の多言語版(英語・繁体語・簡体語・韓国語)を制作し、観光施設等で配布した。

(ウ) 沖縄の伝統芸能パンフレットのA3サイズ多言語版(英語・繁体語・簡体語・韓国語)を制作し、観光施設等で配布した。

(エ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、ホームページへの掲載及び劇場等での配布を行った。

(オ) 2020年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び配付を行った。

(カ) 1月定期公演の琉球舞踊「春夏秋冬を舞う」において、近隣の高校の茶道部による恒例の呈茶を実施し、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント(カレンダー、劇場グッズ等の詰め合わせ)を行い、初春公演の雰囲気盛り上げた。

(7) バックステージツアーについて

地域への還元を図り、劇場への理解を深める機会を設けるため、「劇場バックステージツアー」を令和元年8月3日、4日に計2回実施し、計121名が参加した。

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊(立方・地方)の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

(1) 研修の実施(第5期組踊研修：平成31年4月～令和2年3月)【計画：10名】

組踊(立方・地方)：第5期(10名)の3年目の研修を実施。

立方5名及び地方5名(歌三線4名、箏1名)

(2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか(総勢18名)

(3) 養成状況

ア 主な授業

組踊実技(立方、三線、箏)、副実技(琉球舞踊、太鼓、笛、箏、胡弓)、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、詞章研究、日本近世芸能史、琉球音楽論、発表会、舞台鑑賞

イ 授業回数 合計473回

- ・組踊実技の実施(90分の278回 立方139回・地方139回)
- ・副実技の実施(90分の44回)
- ・基礎実技の実施(90分の113回)
- ・講義研修(特別講義含む)の実施(90分の23回)
- ・鑑賞・見学研修の実施(90分の13回)
- ・研修発表会の実施2回

ウ 休暇等

夏季休暇 令和元年8月12日～9月1日
 冬季休暇 令和元年12月16日～令和2年1月5日

(4) 研修生発表会の実施

- ア 第五期組踊研修生第5回発表会：令和元年10月10日、国立劇場おきなわ大劇場
 演 目：組踊「銘苺子」
 鑑賞者数：507名
- イ 第五期組踊研修生修了発表会：令和2年3月5日、国立劇場おきなわ大劇場
 演 目：組踊「花売の縁」
 鑑賞者数：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、非公開開催

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

- ア 組踊研修講師会議の実施（年間3回）
- イ 養成事業委員会の開催
 組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を令和2年3月23日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

組踊既成者研修第9回発表会：令和元年12月7日、国立劇場おきなわ大劇場
 演 目：組踊「二童敵討」、組踊「貞孝婦人」
 鑑賞者数：310人

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	21	35	2	58
逐次刊行物	冊	87	160	24	271
公演・演出台本	冊	0	2	114	116
上演資料集	冊	0	18	0	18
合 計		108	215	140	463

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	28	28
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	38	38
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	38	38
DVD	枚	0	0	0	0
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	0	0	0	0

ポスター	枚	0	10	101	111
チラシ	冊	0	0	0	0
展示図録	点	1	11	0	12
冊子	点	0	0	0	0
合計		1	21	205	227

(2) 上演資料集、古文献等の調査研究等

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料、論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。

- ・国立劇場おきなわ芸能資料集 講座「執心鐘入をめぐって」(300冊刊行)
- ・「火花方日記」の研究(800冊刊行)
- ・「冊封琉球全図」(800冊令和2年3月刊行)

(3) 展示

沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるため、国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示した。

期 間	名 称	内 容
平成31年 4月13日(土) ～6月23日(日) 72日	第一回 企画展 「現代に生きる玉城朝薫」	玉城朝薫の作品は、組踊の金字塔として根強い人気を誇り、古典作品としてリスペクトされるばかりでなく、新しい創造の源泉としても生き続け、新作組踊や沖縄芝居などに影響を与え続けており、様々に息づく朝薫の世界を紹介。
令和元年 7月4日(木) ～9月15日(日) 74日	第二回 企画展 「執心鐘入をめぐって」	玉城朝薫の五番の中でも特に異彩を放つ「執心鐘入」は、文学・演劇・音楽など様々に描かれる「道成寺もの」の一つであるが、そのどれも異なるものであるため、他ジャンルの「道成寺」を展示し、組踊との共通点と独自性から、朝薫の世界を浮き立たせる。
令和元年 10月4日(金) ～12月22日(日) 80日	第三回 企画展 「朝薫の五番」	衣装・小道具をはじめ、関連する他ジャンルの作品紹介など多角的視点から、その魅力に迫る。
令和2年 1月11日(土) ～3月22日(土) 51日 ※コロナウィルス感染防止のため、2/28～3/19まで閉室	第四回 企画展 「伝統花火-琉球・中国・近世日本-」	かつて琉球国には、「絡物(からくりもの)」と呼ばれる仕掛け花火があり、もともと中国から習ったものであるが、国宝・尚家文書「火花方日記」にみる「からくり仕掛け花火」は、中国・日本本土はもちろん、世界にも比類ない独特の美しさを誇ることから、研究公演で復元・実演を行った琉球の花火を中心に、日本本土や中国の伝統花火についても映像や写真などの資料により紹介する。

4回の企画展示の入場者数合計(カウント数): 11,677人(279日間)

【年度計画: 目標来場者数12,000人(達成率97.3%)、計画日数 289日】

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記

録を保存した。

ア 自主公演30公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（4回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を3回実施、入場者数合計510人。

【年度計画：4回】

(5) 公開講座

伝統芸能の理解促進と普及を図るため、以下のとおり伝統芸能に関する公開研究講座を3回実施した。また、組踊上演300周年を記念して「特別講座」を開催した。

- ・第1回研究講座「1719年朝薫の舞台～『冊封全図』と『中山伝信録』 徐葆光が見た朝薫の舞台～」(令和元年9月11日。158人)
- ・第2回研究講座「1719年朝薫の舞台～『火花方日記』研究と復元～」(令和元年9月18日。160人)
- ・第3回研究講座「1719年朝薫の舞台～御冠船踊・演出の研究～」(令和元年9月25日。147人)
- ・第1回特別講座「執心鐘入をめぐって～道成寺と執心鐘入～」(令和元年7月4日。250人)
- ・第2回特別講座「執心鐘入をめぐって～能『道成寺』～」(令和元年7月10日。143人)
- ・第3回特別講座「執心鐘入をめぐって～文楽『日高川』～」(令和元年7月17日。123人)
- ・第4回特別講座「執心鐘入をめぐって～琉球芸能と能の囃子～」(令和元年7月24日。147人)
- ・第5回特別講座「執心鐘入をめぐって～執心の表象～」(令和元年7月31日。141人)

(6) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

レファレンスルーム利用者：2,304人（うち一般711人）

映像・音声視聴：1,309件（1,428時間）、映像・音声複製：48件（65時間）

公開資料：平成16年度～令和元年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(7) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、「文化観光戦略推進事業」による公演（茅ヶ崎市民文化会館（2/24））に合わせて衣装の展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

令和元年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場及び小劇場

ジャンル	大劇場		小劇場		計	
	件数	使用日数	件数	使用日数	件数	使用日数
組踊	4	6	8	14	12	20

演劇	4	7	8	24	12	31
舞踊	14	24	26	47	40	71
古典音楽	7	8	10	13	17	21
民謡	2	2	1	1	3	3
民俗芸能	2	3	3	5	5	8
その他（講演会等）	8	9	20	21	28	30
計	41	59	76	125	117	184
利用可能日数		137		216		353
目標日数		70		120		190
達成率		84.3%		104.2%		96.8%

【平成30年度実績との比較】

大劇場：件数で10件の減、使用日数で14日の減。

小劇場：件数で13件の減、使用日数で13日の減。

大劇場及び小劇場の合計：件数で23件の減、使用日数で27日の減

ウ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	135件	542.5時間
中稽古室	321件	851.0時間
第1小稽古室	314件	779.0時間
第2小稽古室	492件	1,363.5時間
第3小稽古室	646件	1,433.5時間
第5小稽古室	556件	1,222.5時間
第6小稽古室	744件	1,659.5時間
交流プラザ	47件	106.0時間
養成研修室	174件	463.0時間
会議室	5件	40.5時間
合計	3,434件	8,461.0時間

※平成30年度の実績と比較すると、件数で37件の増、使用時間で413.5時間の減。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

ア 施設利用の案内をホームページに掲載し、また、適宜貸劇場の空き日状況を掲載した。

イ 劇場利用のご利用案内リーフレットを校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。

ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。

エ 令和2年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。

オ 稽古室のご利用案内リーフレットを増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

ア 警備業務請負契約

イ 清掃業務請負契約

ウ 施設運転監視業務請負契約

エ 舞台技術常駐業務請負契約

オ 劇場案内等業務委託契約

(2) 機械保守費

- ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
- イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
- ウ 舞台機構保守請負契約
- エ 音響設備定期保守業務請負契約
- オ 照明設備定期保守業務請負契約
- カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 文化プログラム関連事業

(1) オーディオガイドシステムの導入

令和元年10月19日(土)の普及公演 DiscoverKUMIODORI組踊鑑賞教室「執心鐘入」において、4か国語に対応したオーディオガイド(英語・中国語・韓国語・日本語)を提供した。

(2) 企画展示における多言語リーフレットの作製

企画展示においては、外国人向けに、外国語(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語)の翻訳パンフレット及び展示解説リーフレットを設置・無料配付し、組踊・琉球舞踊の魅力を紹介した。

(3) 外国人のための組踊ワークショップの開催

DiscoverKUMIODORI組踊鑑賞教室「執心鐘入」の公演前に、外国人のための組踊ワークショップを開催した。

(4) 沖縄と東アジアや日本本土の民俗芸能に関する調査及び企画展示

中国、韓国、台湾や日本本土など、歴史的に沖縄の伝統文化に影響を及ぼした各国・地域における伝統花火の調査研究を行い、復元したからくり仕掛け花火を実演し、その成果を企画展示した。

(5) 組踊300年 男(女形)芸の継承と発信(県外公演等)

令和元年12月5日から同月7日まで、フランス・パリにおいて公演等を実施した。学校でのワークショップ、素顔から女形に仕上がっていく扮装の過程を間近で見学してもらい組踊レクチャー、組踊と琉球舞踊公演等、来場者の関心を高めた。

(6) 組踊ワークショップ等の開催

ア 組踊ワークショップの開催

自主公演(組踊関連公演)の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを6回開催し、旅行業者と連携し組踊鑑賞ツアーを造成することで、県外観光客等の誘客を図った。

イ 県外組踊ワークショップの開催

県外において、組踊ワークショップを4回開催することで、県外における組踊の普及啓発、県外公演や組踊鑑賞ツアーへの誘客を図った。

- ・令和元年9月22日 兵庫県立芸術文化センターリハーサル室 参加者数50人
- ・令和元年9月23日 まつもと市民芸術館スタジオ2 参加者数45人

令和2年3月末現在会員数：1,648人

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施：自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。

(ア) 「友の会新春講演会」：令和2年2月22日、参加人数140人。

小劇場において、中村一雄先生（国指定重要無形文化財「琉球古典音楽」各個認定保持者）を講師に迎え、嘉数道彦（当劇場芸術監督兼企画制作課長）を聞き手に、中村一雄先生のこれまで歩まれてきた芸の道に関して講演会を実施した。

(イ) 公開稽古見学会

- ・令和元年6月12日(水) 組踊「花売の縁」公開稽古見学会 参加者数16人
- ・令和元年7月21日(日) 新作組踊「花よ、とこしえに」公開稽古見学会（第1回） 参加者数18人
- ・令和元年8月6日(火) 新作組踊「花よ、とこしえに」公開稽古見学会（第2回） 参加者数12人
- ・令和2年2月5日(水) 組踊「伏山敵討」公開稽古見学会 参加者数31人

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

(ア) 「ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン」：既存会員から紹介を受けて新規入会した場合、入会者及び紹介者へ特典として自主公演50%割引券を進呈。

(イ) 「Web新規入会促進キャンペーン」：Webチケット販売サービスから入会した場合、特典として自主公演50%割引券を進呈。

令和2年1月4日から3月31日まで実施。期間中、「ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン」20人、「Web新規入会促進キャンペーン」11人の計31人がキャンペーンを利用して新規入会した。

(ウ) 「友の会入会金0円キャンペーン」：対象の普及公演（令和元年6月から10月の6公演）購入者に限り、通常1,000円の入会金を0円とした。このキャンペーンを利用して106人が新規入会した。

エ 自主公演観劇ラリーの実施：会員サービスの充実を図るとともにチケット販売を促進するため、平成31年4月から令和元年11月まで、友の会会員限定企画「国立劇場おきなわ自主公演観劇ラリー」を実施した。

6つの対象公演のうち、3公演購入者に「自主公演50%割引券」1枚を、6公演購入者に「自主公演50%割引券」1枚と「自主公演ご招待券」1枚を、8公演すべて購入者には「自主公演50%割引券」1枚と「自主公演ご招待券」2枚進呈することとした。

（購入者数） 3公演：39人、4公演：23人、5公演：13人、6公演：5人、
7公演：4人、8公演：3人

(2) 募金活動等の推進

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	件数	21件	4件	22件	47件
収入	金額	1,500千円	350千円	300千円	2,150千円

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

		職 場
募金収入	件数	158件
	金額	608千円

(3) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 令和元年度アクセス件数 615,592件（1日平均1,682件）

イ メールマガジン（月1回発行）

ウ 公式Facebookページを平成26年11月に開設。

【自主公演日程・演目・出演者】

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
1	定期公演	4月20日	昼	組踊 「万歳敵討」「義臣物語」 第一部 組踊「万歳敵討」 第二部 組踊「義臣物語」	田口博章、玉城匠、玉城盛義、名嘉正光、新垣悟他 平田智之、山城峻称、宮城茂雄、前當正雄、親泊久玄、宇座仁一、金城陽一、儀保政彦他
2	定期公演	4月27日	昼	琉球舞踊 男性舞踊家の会 第一部「四つ竹」「前の浜」「本貫花」「高平良万歳」「伊野波節」 第二部「ぜい」「取納奉行」「江間当」「八重瀬の万歳」「金細工」「よ一加那よ一」	金城清一、赤嶺正一、真境名律弘、大湾三瑠、阿嘉修、石川直也、東江裕吉、新垣悟、神谷武史、佐辺良和、宮城茂雄、大浜暢明、田口博章、金城真次、玉城匠
3	定期公演	5月15日	夜	組踊 忠臣身替の巻 第一部 古典音楽斉唱「ちゃんな節」 祝儀舞踊「かぎやで風」 第二部 組踊「忠臣身替の巻」	照喜名朝一、玉城政文、前川朝文、島袋英治、赤嶺正一、海勢頭あける、儀保政彦、玉城盛義、東江裕吉、新垣悟、親泊興照、金城清一、島袋光尋、佐辺良和、宮城能鳳、金城真次、島袋光晴他
4	定期公演	5月25日	昼	三線音楽 古典音楽の美 第一部 古典音楽斉唱「作田節」 組踊のなかの古典音楽 仲風の世界 第二部 古典音楽斉唱「十七八節」 復元曲 斉唱・独唱 口説の世界～口説渡り～ 古典音楽斉唱「かぎやで風節」	玉城正治、大湾清之、銘苺盛隆、比嘉康春、照喜名進、島袋功、宮城竹茂、山内昌也、長浜真輝、新垣俊道、仲村逸夫、赤嶺和子、宮城秀明、長嶺ルーシー、大城幸代、森田夏子、宮城秀子、神谷和枝、安慶名久美子、城間良子、花城英樹、和田信一、與那國太介、玉城和樹、大城貴幸、仲尾勝成、瀬良垣幸雄、島袋奈美他
5	普及公演	6月8日	昼	組踊 「二童敵討」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「二童敵討」	玉城匠 上原崇弘、仲村圭央、佐喜眞一輝、新垣悟、比嘉大志、知花令磨、伊藝武士、島袋浩大
6	企画公演	6月15日	昼	語り組踊 「恋し子の方星」 第一部 琉球講談「謝名親方鄭廻の最期」 第二部 語り組踊「恋し子の方星」	玉城匠 佐辺良和、宮城茂雄、嘉数道彦、川満香多
7	定期公演	6月29日	昼	組踊 「花売の縁」 第一部 琉球舞踊～水辺の風景～ 第二部 組踊「花売の縁」	仲嶺麗子、仲嶺絵里奈、神谷月輝、神谷水輝、前田優紀、嶺井清美、佐渡山也子、嘉数幸雄、川満香多、東江裕吉、神谷心乃香、阿嘉修、糸数彰馬、神谷武史
8	定期公演	7月20日	昼	琉球舞踊 「琉球舞踊鑑賞会」 第一部「稲まつん」「前の浜」「諸屯」「揚作田」「高平良万歳」「柳」 第二部「浜千鳥」「日傘踊り」「遊び鳩間節」「みやらび」「いちゅび小」「花風」「加那よ一天川」	真境名由佳子、佐渡山也子、花岡尚子、野原エリサ、松川好美、仲程めぐみ、皆川律子 安座間明美、大田礼子、呉屋かなめ、比嘉一恵、喜屋武愛香、山川昭子、松田恵、中村知子

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
9	普及 公演	7月27日	昼	組踊 親子のための組踊鑑賞教室 「女物狂」 第一部 組踊版・シンデレラ 第二部 組踊「女物狂」	上原崇弘、宮崎花澄、山城峻称、 知花小百合、嘉数幸雄、伊藝武士 宇座仁一、平田綾乃、田口博章、 池間隼人、平良香葉、新里妃梨、 新里龍生
10	普及 公演	8月10日	昼	琉球 舞踊 琉球舞踊鑑賞教室 第一部 「かぎやで風」「瓦屋」「高 平良万歳」「醜童」 第二部 「浜千鳥」「金細工」「加那 よ一天川」「マヤー小」「ちどり」	阿嘉修、呉屋かなめ、上原崇弘、 石川詩子、大浜暢明、宇座仁一、 新垣麻里子、西村綾乃、新垣史織 小嶺和佳子、松田香織、天久美 海、池間恋来、国場遙香他
11	企画 公演	8月24日 25日	昼 昼	組踊 新作組踊 「花の幻」「花よ、とこしえに」 第一部 「花の幻」 第二部 「花よ、とこしえに」	東江裕吉、知念亜希、宮城茂雄、 花岡尚子、高宮城実人、上原崇弘 伊良波さゆき、神谷武史、石川直 也、佐辺良和、伊藝武士、末吉心 優、大湾三瑠、知花小百合 山城亜矢乃、川満香多、大浜暢明
12	普及 公演	9月12日 13日	昼 昼	沖縄 芝居 沖縄芝居鑑賞教室「怪猫伝・化け 猫～山田祝女殿内～」 第一部 琉球舞踊と喜歌劇 第二部 「怪猫伝・化け猫～山田祝女殿内～」	瀬名波孝子、平良進、真栄田文字 赤嶺啓子、大城常政、新垣正弘、 宮城能香、高宮城実人、嘉数道彦 伊良波さゆき、知念亜希、金城真 次、伊禮門綾、廣山えりか他
13	定期 公演	9月14日	昼	沖縄 芝居 「王女御嶽」「怪猫伝・化け猫～山 田祝女殿内～」 第一部 「怪猫伝・化け猫～山田祝女殿内～」 第二部 歌劇「王女御嶽」	瀬名波孝子、平良進、真栄田文字 赤嶺啓子、大城常政、新垣正弘、 宮城能香、高宮城実人、宇座仁一 嘉数道彦、佐辺良和、伊良波さゆ き、知念亜希、金城真次他
14	定期 公演	9月28日	昼	琉球 舞踊 琉球舞踊特選会 第一部 古典舞踊 「作田」「瓦屋」「稲まづん」 第二部 雑踊 「加那よ」「櫛の鳩間節」他 第三部 創作舞踊 「吉屋」「うむい」「鏡張居」	金城光子、又吉世子、比嘉美好 又吉静枝、宮城豊子、親泊興照 宮城能鳳、谷田嘉子、金城美枝子 古謝弘子、宮城幸子、玉城静枝
15	研究 公演	10月4日	夜	組踊 御冠船踊と組踊「執心鐘入」 第一部 御冠船踊 「入子躍」「老 人老女」「扇子躍」 第二部 組踊「執心鐘入」 琉球の花火 ～「火花方日記」の研究・復元	猪野屋楓、山城峻称、宇座仁一、 平田智之、伊波留依、仲嶺夕理彩 宮崎花澄他 田口博章、宮城茂雄、池間隼人、 宮里光也、川満香多
16	研究 公演	10月5日	夜	組踊 御冠船踊と組踊「銘苺子」 第一部 御冠船踊 「入子躍」「老 人老女」「扇子躍」 第二部 組踊「銘苺子」 琉球の花火 ～「火花方日記」の研究・復元	猪野屋楓、佐喜眞一輝、宇座仁一 平田智之、伊波留依、仲嶺夕理彩 宮崎花澄他 神谷武史、新垣悟、末吉心暖、宮 城柚羽、川満香多、堀川裕貴
17	普及 公演	10月16日 17日 18日	朝 昼 朝 昼 朝 昼	組踊 組踊鑑賞教室「執心鐘入」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」	上原崇弘、川満香多 玉城匠、金城真次、田口博章、 佐辺良和、石川直也、新垣悟、 島袋浩大

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
18	普及公演	10月19日	昼	組踊 はじめての組踊 ～DiscoverKUMIODORI～「執心鐘入」 第一部 組踊版・シンデレラ 第二部 組踊「執心鐘入」	玉城匠、宮崎花澄、山城峻称 知花小百合、伊藝武士、上原崇弘 金城真次、佐辺良和、川満香多、 石川直也、新垣悟、島袋浩大
19	企画公演	10月27日	昼	アジア・太平洋地域の芸能 アジア・太平洋地域の芸能 昆曲 第一部 「下山」「養子」 第二部 「遊園驚夢」～ 「牡丹亭」より	楽団「江蘇省蘇州昆曲院」 柳春林、沈国芳、翁育賢、 王芳、俞玖林
20	企画公演	11月17日	夜	本土の芸能 国立劇場寄席 客寄囃子の実演解説、落語、 紙切り、太神楽	林家正蔵、春風亭一之輔、 春風亭三朝、鏡味仙三郎社中、 林家正楽、柳亭市弥、松尾あさ
21	定期公演	11月24日	昼	民俗芸能 組踊「父子忠臣」～竹富島仲筋村～ 第一部 「ガシ棒」、狂言「鬼捕り」 第二部 組踊「父子忠臣」	宇根啓士郎、宮良長和、宇根規光 守岡人、宇根大喜、古見桜、古見 彩花、宇根聖暁他 東金城達三、大政司、仲間光、請 盛拓真、宇根旦倫、請盛帆南、請 盛滝典、金嶺一彦、平良喜作
22	定期公演	12月14日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊特選会 第一部 「作田」「高平良万歳」 「汀間当」「本花風」他 第二部 「繁昌節」「伊野波節」 「取納奉行」「あや愛しゃ」他	海勢頭あける、島袋君子、我那覇 則子、渡久地美代子、安次富紀子 玉城節子 比嘉涼子、宮城能造、志田房子、 玉城秀子、佐藤太圭子
23	企画公演	12月21日	昼	本土の芸能 能「翁」「羽衣」 翁、狂言 寝音曲 仕舞 船弁慶、能 羽衣	観世清和、坂井音重、山本東次 郎、大倉源次郎、観世三郎太、坂 井音雅、一噌隆之、亀井広忠他
24	企画公演	12月22日	昼	本土の芸能 能「放下僧」「石橋」 能 放下僧、狂言 樋の酒 仕舞 東北、半能 石橋	観世清和、坂井音重、山本東次 郎、大倉源次郎、観世三郎太、坂 井音雅、一噌隆之、亀井広忠他
25	定期公演	1月11日	昼	琉球舞踊 春夏秋冬を舞う 第一部 「初春」「本貫花」「梅の 香り」「浜下り」他 第二部 「十五夜」「月下の戯れ」 「綱引き」「稲穂踊り」他	仲村圭央、伊藤美砂、饒波園代、 東江裕吉、島袋秀乃、照屋正江、 新垣江里子他 真境名あき、金城順子、阿波連京 子、真境名結子、城戸千代美、渡 嘉敷守良、玉城千枝他
26	企画公演	1月18日	昼	その他 ゆらていく遊ば 喜劇「鐘入鬼女其ノ後ノ噺 ～続・執心鐘入～」	上原崇弘、知念亜希、徳原清文、 玉城匠、高宮城実人、花城英樹、 伊禮門綾、瀬名波孝子、嘉数好子 大城美佐子、宇座仁一
27	定期公演	2月22日	昼	組踊 「伏山敵討」 第一部 琉球舞踊「前ぬ浜」「諸 屯」「日傘踊り」「加那よー」 第二部 組踊「伏山敵打」	船越かおる、山田玲子、伊佐幸子 與那嶺奈津子 平田智之、宮城茂雄、親泊久玄、 田口博章、宇座仁一、石川直也、 池間隼人、川満香多、阿嘉修他
28	定期公演	2月29日	昼	琉球舞踊 男性舞踊家の会	※新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため中止
29	定期公演	3月14日	昼	三線音楽 島唄の響き	※新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため中止
30	企画公演	3月21日	昼	組踊 新作組踊「春時雨」 第一部 創作舞踊の世界 「綾結び」「旅人」「鳩間の主」 第二部 新作組踊「春時雨」	喜屋武愛香、狐島丘奈、比嘉いず み、佐辺良和、東江裕吉、新垣 悟、川満香多、嘉数幸雄、玉城 匠、伊藝武士、宇座仁一、山城寅 旦、宮城茂雄

【自主公演入場率】

	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)
1	4月20日	「万歳敵討」「義臣物語」	昼	563席	324人	57.5%	565席	339人	60.0%
2	27日	男性舞踊家の会	昼	621席	550人	88.6%	619席	495人	80.0%
3	5月15日	「忠臣身替の巻」	夜	563席	382人	67.9%	565席	339人	60.0%
4	25日	古典音楽の美	昼	621席	407人	65.5%	619席	371人	60.0%
5	6月8日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	昼	578席	386人	66.8%	578席	405人	70.0%
6	15日	語り組踊「恋し子の方星」	昼	249席	216人	86.7%	249席	149人	60.0%
7	29日	「花売の縁」	昼	563席	491人	87.2%	565席	339人	60.0%
8	7月20日	琉球舞踊鑑賞会	昼	621席	492人	79.2%	619席	464人	75.0%
9	27日	親子のための組踊鑑賞教室「女物狂」	昼	578席	543人	93.9%	578席	405人	70.0%
10	8月10日	琉球舞踊鑑賞教室	昼	568席	498人	87.7%	566席	396人	70.0%
11	24日	新作組踊「花の幻」「花よ、とこしえに」	昼	621席	438人	70.5%	619席	402人	65.0%
12	25日	新作組踊「花の幻」「花よ、とこしえに」	昼	632席	327人	51.7%	632席	411人	65.0%
13	9月12日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	568席	480人	84.5%	566席	425人	75.0%
14	13日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	498人	86.0%	579席	434人	75.0%
15	14日	「王女御嶽」「怪猫伝・化け猫～山田祝女殿内～」	昼	568席	425人	74.8%	566席	368人	65.0%
16	28日	琉球舞踊特選会	昼	621席	367人	59.1%	619席	464人	75.0%
17	10月4日	御冠船踊と組踊「執心鐘入」	夜	494席	440人	89.1%	565席	396人	70.0%
18	5日	御冠船踊と組踊「銘苺子」	夜	494席	431人	87.2%	565席	396人	70.0%
19	16日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝	578席	134人	23.1%	578席	433人	75.0%
20	16日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	408人	70.6%	578席	434人	75.0%
21	17日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝	578席	471人	81.5%	578席	433人	75.0%
22	17日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	377人	65.2%	578席	434人	75.0%
23	18日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝	578席	295人	51.0%	578席	433人	75.0%
24	18日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	442人	76.5%	578席	434人	75.0%
25	19日	DiscoverKUMIODORI「執心鐘入」	昼	578席	431人	74.6%	565席	339人	60.0%
26	27日	アジア・太平洋地域の芸能	昼	567席	400人	70.5%	619席	371人	60.0%
27	11月17日	「国立劇場寄席」	夜	621席	586人	94.4%	619席	495人	80.0%
28	24日	組踊「父子忠臣」～竹富島仲筋村～	昼	621席	357人	57.5%	619席	402人	65.0%
29	12月14日	琉球舞踊特選会	昼	621席	484人	77.9%	619席	464人	75.0%
30	21日	能「翁」「羽衣」	昼	617席	568人	92.1%	619席	495人	80.0%
31	22日	能「放下僧」「石橋」	昼	617席	514人	83.3%	619席	495人	80.0%
32	1月11日	春夏秋冬を舞う	昼	621席	393人	63.3%	619席	464人	75.0%
33	18日	ゆらていく遊ば	昼	568席	517人	91.0%	566席	425人	75.0%
34	2月22日	「伏山敵討」	昼	567席	502人	88.5%	565席	339人	60.0%
35	29日	男性舞踊家の会	昼	—席	—人	—%	619席	495人	80.0%
36	3月14日	島唄の響き	昼	—席	—人	—%	249席	149人	60.0%
37	21日	新作組踊「春時雨」	昼	621席	435人	70.0%	619席	402人	65.0%
合計				20,189席	15,009人	74.3%	21,218席	14,934人	70.4%

【年度計画：14,934人、達成率100.5%】

※「男性舞踊家の会(2月)」及び「島唄の響き」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため公演中止となった。